

2026年度 第2回藤沢市立大越小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2026年 8月 28日（金） 10時～
場 所 大越小学校 ランチルーム

出席委員	齊藤 正枝 （青少年育成協力会副会長・善行三者ふれあいネットワーク会長） 石塚 義之 （善行市民センター長） 佐久間 健一 （善行あそび塾運営・善行地区郷土づくり推進会議委員） 岩澤 貴子 （主任児童委員・お話しの会メンバー） 石井 正悟 （令和8年度PTA会長） 佐藤 康智 （善行市民センター） 熊谷 晴香 （善行地区CSW） 丸谷 英之 （大越小学校長） 杉野 牧子 （大越小学校児童支援 総括教諭） 以上 9名（欠席2名）傍聴人 0名
次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 （1） 防災ヘルメットの導入について （2） 学校評価の見直しについて 4 事務連絡
協議内容	議題 （1） 防災ヘルメットの導入について [校長より] 「防災ヘルメット」の導入を検討する上で、皆さんのご意見をいただきたい。 ※仕様は、1500円程度の一般的な防災ヘルメットを全学年で導入し、保護者の受益者負担を想定。保管方法は、児童椅子の下に、防球ネットと結束バンドでの保管を検討している。 [委員より] ・導入の議論については、当事者意識を醸成するためにも、PTA でも考える場をもちたい。保管用ネットの取付作業は、PTA で募集できると思う。 ・低学年では、コンパクトなのが魅力的だが、高学年まで使うことを考えると、ノーマルタイプで統一した方が良いと思う。 ・使用頻度が高くないことを考えると、低学年は低学年用を持たせても良いと思う。フィット感の解消にはなるが、費用負担に問題がある。 ・「耐用年数」について、6年間持ち続けることの課題もある。 ・いざという時にぱっとかぶれるために、ノーマルタイプのシンプル仕様が良いと思う。子どもも、自転車用ヘルメットで着用の経験があると思うので。訓練の中でも、かぶり方の指導ができると良い。 ・本来ならば、国や市町村などから支給されるべきものだとも思う。 ・困窮世帯が購入できていないということにならないように、公的費用で補助できると良いと思う。

(2) 学校評価の見直しについて

[校長より]

内容と実施方法、対象学年の拡充についての検討していただきたい。
今後は、4月に全職員にグランドデザインを示す中で、当アンケートを予告し、教職員の個々の目標や年間反省と連動させることで、PDCA の流れに整えたい。

[グループでの協議]

- ・見直しの良い機会となった。来年度以降は、上記の形で保護者と教職員と児童で共有できるのは良いと思う。
- ・保護者の項目で、家庭でもアンケートに沿って、ご家庭でも保護者自身が振り返るきっかけになれば良いと思う。
- ・児童向けは、言葉遣いが児童向けになって分かりやすかったのも、保護者用もそれに合わせられると良いと思う。
- ・低学年にとっては、項目が多いので、低学年は項目を減らすことと、紙での実施を検討して良いと思う。
- ・集計の負担がないか心配されたが、Google スプレッドシートになるので、対応可能と思われる。
- ・児童用は、「楽しいですか」というのをさらに掘り下げると良いと思う。「はい」なら、別の設問に進めるようになっていてもよい。
- ・全学年に実施するのはよいが、後半の設問は、低学年には難しいので表現を変えても良い。また、一方で、高学年は、SNS の項目を保護者にも設けて良いのではないか。ケータイをもっているか、SNS の規制をかけているかなど。
- ・保護者向けには、お子さんの学年を確認できると良いと思う。
- ・「大雨が起きたときにどうすればよいか」などご家庭での防災に向けた項目を保護者に入れても良い。
- ・困りごとの相談先に、相談できる先生に加えて、「地域の方がいますか」という表現を加えても良い。

各団体より

- ・石井委員より 9月29日(火)学校給食試食会をコミスク主催で実施します。現在参加者15名程度。
- ・佐久間委員より 善行地区郷土づくり推進会議の取組について、8月6日に「納涼祭」を実施。今後、「防災フェア」での参加を募集している。
- ・石塚委員より 「防災フェア」を10月3日に行います。今年から、名称を変え、自治会に入っていない方も参加できるようにしている。子どもたちにも防災の体験ができるようにしている。
- ・佐藤委員より 8月23日善行中のコミスク主催で、市民センターで座談会を行った。大越小と善行小も参加。森の子じゅう学校の方による講話や不登校についての相談窓口の紹介や話し合う場を持った。

5. 事務連絡

- ・11月20日研究推進校研究発表会のお手伝いについて

次回開催日程

2026年10月20日(火) 10時～

場所 大越小学校ランチルーム